

# 二期結集で着工阻止へ

## 菱田地区での用水攻撃許さないぞ、428三里塚現地闘争に決起

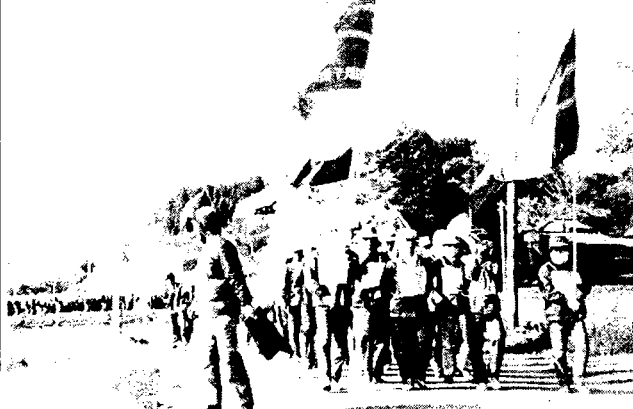
去る四月二十八日、二期本格着工！そのための四月成田用水強行着工！反対同盟破壊攻撃をめぐって緊迫の度を強めている菱田現地において、反対同盟主催による断固たる反撃のための総決起集会がひらかれ、反対同盟を先頭に、動労千葉をはじめとする支援の労働者・市民・学生七百名がかけつけ、機動隊の重包囲をもとめせず意気軒昂と闘いぬいた。

人民の怒りのゲリラと巨万の結集で、二期阻止は可能だ

菱田地区で開かれたこの日の総決起集会には、忙しい農作業の合間をぬって反対同盟農民も全力で結集し、辺田・天神橋の近くの会場にはあふれかえるほどの人波と熱気がうずまいた。「用水実力粉碎」のヤグラの立つこの地区には、反対同盟員の田が多く、公団・用水推進派も今日まで手をつけることのできなかつた、敷地内（天神峰・東



▲用水粉碎の先頭に立つ菱田の反対同盟各氏。発言は鈴木幸氏。



峰など）と並ぶ反対同盟の不屈の闘争拠点である。十三時すぎ、萩原事務局次長の司会で開催。主催者を代表して天神峰の小川嘉吉さんが「同盟破壊のための成田用水など、絶対に許さない。菱田と共にどこまでも闘いぬこう」とあいさつ。基調報告にたった北原事務局長は、二期本格着工をめぐる敵の焦りにみちた攻撃（菱田への用水攻撃、木の根・横堀での工事用道路建設、裏切者Ⅱ石橋らを使った代替地耕作、等々）の策動を具体的に暴露・弾劾すると共に、とりわけ、東峰十字路裁判での全くのデッチ上げ重罪攻撃による反対同盟破壊攻撃を徹底的に粉碎し尽くすことの重大性を訴えた。そして、3・24一万五千の大結集と空港そのものを直撃・破壊・閉鎖に追い込むまでに至っているゲリラ闘争Ⅱ人民の怒りの爆発が、敵・公団をギリギリに追いつめ、二期延期・断念！廃港への巨大な展望をきりひらいてきていることを確信高く明らかにしたうえで「さらに5・26全国総決起集会の巨万の爆発で、二期粉碎に追いうちを！」と断固たる檄を發した。

### 5・26に全力決起しよう

続いて、菱田現地で闘う、辺田・中郷等の反対同盟の各戸が決意表明にたち、本部役員鈴木幸司さん（芝山町議・中郷）が代表して決意、ならびに「用水推進の菱田工区役員による卑劣な着工策動！申し入れ、新聞折り込みの中傷ビラ、暴力的敵対を弾劾する」特別決議をよみあげた。さらに、集会の名をもって、菱田工区役員Ⅱ小川総一郎、石井英祐、三ノ宮武二宅へ抗議団を派遣した。

敷地内・市東さん、婦人行動隊・郡司さん、青年行動隊・宮本さん、各共闘団体、沖繩民権の会・古波津さん、東京実行委・青柳さん、小西さん、北富士忍草母の会の渡辺さん、天野さん、そして動労千葉全支部からの20名の代表で参加した動労千葉を代表して山口副委員長が「二期阻止！国鉄決戦勝利へ、労農連帯の真価をかけて決起する」との決意を表明した。集会後、全員で菱田現地を席巻する戦闘的デモを行い、「5・26へ全力決起するぞ！」を合言葉に、この日の闘いを成功裡に終了した。

# 中曽根内閣打倒の声高く 五月晴れの五月一日、第五回メーデー



五月晴れの五月一日、第五回中央メーデーは、会場は千葉公園広場を埋めつくす一万五千名を集めて開かれた。

主催者を代表して、あいさつにたった井原実行委員長（県労連議長）は、「中曽根内閣の軍拡政策強行に対し、力を合わせて平和と民主主義を守っていこう」と呼びかけ、来賓のあいさつを受けた。

大会は労働時間短縮、一兆円減税、憲法擁護、下総基地の米空母艦載機の夜間訓練使用反対などのスローガンを確認した後「メーデーの祝日化」

「四月二十九日から五月五日までを太陽と緑の週として、休日にする」ことを求める決議文などを採択し、二コースに分かれてデモ行進した。

動労千葉は、県中央メーデーはもとより、船橋、木更津、夷隅、安房、佐倉、成田、銚子の各地区メーデーにも動員旗をもって参加した。